

## 令和6年度指定管理運営業務評価票

|                   |                    |                         |                      |
|-------------------|--------------------|-------------------------|----------------------|
| 施設名称：府立臨海スポーツセンター | 指定管理者：南海ビルサービス株式会社 | 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 | 所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課 |
|-------------------|--------------------|-------------------------|----------------------|

| 評価項目            | 評価基準（内容）                   | 指定管理者の自己評価                                     | 評価  | 施設所管課の評価   | 評価   | 評価委員会の指摘・提言   | 評価  |  |
|-----------------|----------------------------|--|---|--|--|---|-----|--|
|                 |                            |  | S～C   |  | S～C  |   | S～C |  |
| I 提案の履行状況に関する項目 | 方策平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための | (1) 施設の設置目的及び管理運営方針                            | ①大阪府のスポーツの振興を図るとともに、文化的な集会の場も提供してきた施設であることを理解し、各種スポーツ大会やアイススケート競技会等を実施するとともに、吹奏楽やマーチングバンドの練習会場としての利用も促進し、スポーツ振興と文化振興の両方の面から寄与することができた。<br>②「アットホームで誰からも親しみをもたれるRINSPO創りの実現」に対し、利用者への声掛けやアンケート、ホームページのお問い合わせフォームを活用し、利用者の声を把握することで、利用者ファーストの運営を行うことができた。<br>③知的障がい者雇用の継続や地域祭礼への協力により、社会貢献活動を行うことができた。また環境活動として、館内照明のLED化と整氷車燃料のLPガス化により環境に配慮し、法令順守の取組みとして、適用法令一覧表および年間実施計画を作成し、スケジュールを管理するとともに適正に実施した。 | A  | ①各種スポーツ大会等の実施により府民へスポーツの場を提供することができ、スポーツ振興を図ることができている。また、吹奏楽やマーチングバンドの練習会場にも定期的に利用を促すなど、文化振興にも寄与できている。<br>②利用者アンケートのみならず、施設ホームページにお問合せページを作成し、利用者の意見や要望を取り入れることにより、施設利用者の目線で運営を行えるよう努めることができている。<br>③社会貢献活動として、知的障がい者の継続雇用や地域イベント等への協力を通じて社会貢献ができています。整氷車の燃料をLPガスにするなど環境活動にも寄与できている。 | A   |     |  |
|                 |                            | (2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果                        | ①大会や競技会等、土日祝日に集中する希望を調査票で把握することで、多くの団体が利用できるよう調整するとともに、一般の利用者も日程の選択肢が増えるよう配慮し対応した。<br>②割引や減免措置の実施、ホームヘルパー有資格者の雇用継続、点字名刺の作成を行い、高齢者や障がい者等が利用しやすい配慮および体制づくりを行った。<br>③継続して各出入口に消毒液の設置、事務所およびスケートリンク入口に非接触体温計の設置を実施した。   | A  | ①利用日の調整から各利用団体（者）への通知まで公平性を保って実施できている。施設のイベント情報についても広く開示することができている。<br>②高齢者及び障がい者に対する利用体制を整えることができ、高い水準でのサービスが提供できている。<br>③各出入口への消毒液や非接触体温計の設置などを継続しており、不安に思う利用者への対応もできている。  | A   |     |  |
|                 | 施設の効用を最大限発揮するための方策         | (3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果                       | ①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み<br>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み<br>〔指標〕利用者数<br>令和5年度実績：113,182人<br>令和6年度目標：135,000人<br>9月末現在実績：55,978人   | ①アイススケートイベントとして、夏イベント(大人1,000円・小人500円、貸靴付)の実施、各種スポーツ大会として、フットサルリーグ戦(6月)、グラウンドシニアバド(9月)、アイスホッケーリーグ戦(9月)、フィギュアスケートマスターズ(10月)を実施し、集客増によるにぎわいづくりに取組んだ。<br>②ホームページやLINE、Xの積極的な活用と、SNS割引(9月)を実施し、情報発信の拡大に取組んだ。また駅張りポスター(12月)やInstagram導入も計画している。 | A  | ①スケートイベントのみならず、バドミントンやフィギュアスケートマスターズの大会を実施し、集客増のためのにぎわいづくりに取り組んでいる。<br>②目標とする利用者人数には達しない見込みであるが、SNSを活用し、施設イベント等の情報発信を積極的に行うことができている。また、SNS割引などの取り組みにより利用者数の増加に寄与している。 | B   |  |
|                 | (4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果  | ①提案のあったサービス向上策の取組み<br>②自主事業の取組み<br>③施設設備、機能の活用 | ①支払方法のキャッシュレス決済導入と新札への素早い対応により、利用者満足度の向上に繋がった。また開館時間の延長と休日開所についても、利用者のニーズに応えるよう柔軟に対応できた。<br>②ホームページやSNSを活用し自主事業の取組みを知ってもらうとともに、入会キャンペーンやフットサルのリーグ戦(6月)、親子テニス体験教室を実施し、新規受講生獲得に繋がった。<br>③利用頻度の少ない多目的室の有効活用として、新規自主事業でのフリー卓球台の時間貸出を計画している。大会等の控室としての利用は残しつつ、稼働率の向上・収益の改善にも繋がる利用方法と考える。   | A  | ①電子マネー対応端末の導入や新札導入への早期対応のほか、開館時間の調整により、満足度の向上につなげることができている。<br>②教室の開催だけでなく、新規受講生獲得のためのキャンペーンやフットサルのリーグ戦(6月)、親子テニス体験教室を実施した。<br>③12月より多目的室での新規自主事業（フリー卓球台の時間貸出）を開始し、稼働率の向上に繋がった。  | B   |     |  |
| I 提案の履行状況に関する項目 | 施設の効用を最大限発揮するための           | (5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度                      | ①設備点検年間予定表を作成し、計画通り維持管理を行っている。<br>②日常巡視点検や支配人・副支配人による適宜巡回点検を実施するとともに、年2回本社員による安全パトロールや安全品質管理部による監査も実施し、安全管理を行っている。<br>③危機管理マニュアルは常に最新のものに更新するとともに、有事の際に適切な行動がとれるよう消防訓練を年2回実施し、緊急時の管理体制を確立している。  | A  | ①年間予定表に添った維持管理を行うことができている。施設管理において補修が必要となる項目を把握することができている。<br>②日常巡視点検や適宜巡回点検を実施するとともに、本社員による安全パトロールや安全品質管理部による監査も実施し、安全管理を行っている。<br>③緊急時の連絡体制を明確にすることができている。   | A   |     |  |

| 施設名称：府立臨海スポーツセンター          |                        | 指定管理者：南海ビルサービス株式会社  |   | 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 |   | 所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課 |           |
|----------------------------|------------------------|---|---|-------------------------|---|----------------------|-----------|
| 評価項目                       | 評価基準（内容）               | 指定管理者の自己評価  |   | 施設所管課の評価                |   | 評価委員会の指摘・提言          | 評価<br>S～C |
|                            |                        | 評価<br>S～C   | 評価<br>S～C   | 評価<br>S～C               | 評価<br>S～C   |                      |           |
| めの方策<br><br>その他管理に際して必要な事項 | (6) 収入確保策の実施           | ①広告収入等の収入確保策の取組み<br><br>②提案どおり実施されているか。   | ①ホームページ上にバナー広告枠を設け、随時募集をかけている。<br><br>②継続した営業活動が実り、1件の広告収入を獲得した。引き続き営業活動に努め、広告枠の獲得を目指す。   | A                       | ①バナー広告枠について、随時募集を継続している。<br><br>②収入確保に向けた取り組みを行い、4月に1件の広告収入を獲得した。   | B                    |           |
|                            | (7) 府施策との整合            | ①府、公益事業協力等の取組み<br><br>②行政の福祉化の取組み<br><br>③市民・NPOとの協働の取組み<br><br>④環境問題への取組み  | ①各自主事業教室や大会、イベント等の参加によりスポーツ振興に取り組むとともに、年に1度、全従業員を対象とした人権研修を実施し、人権啓発活動を推進している。<br><br>②知的障がい者雇用(1名)、地域就労支援センターからの雇用(2名)を継続して行っている。法定雇用率2.91%<br><br>③高石子ども会や高石市社会福祉協議会、高石市政策推進部(高石シーサイドフェスティバル)の他、地域祭礼への協力を実施。またNPO法人関西スケート振興会とフィギュアスケート発表会を年2回共同で開催した。<br><br>④データ保存推進によるペーパーレス化、LED化やLPガス仕様によるCO2の削減、適切な氷温管理(特に夏場)による電気使用量の削減に取り組んだ。 | A                       | ①各自主事業教室や大会、イベント等の参加によりスポーツ振興に寄与している。<br><br>②行政の福祉化の取組みとして、提案どおり知的障がい者の雇用率が達成できている。<br><br>③協働の取組みとしてスケート発表会を開催している。また、高石市のイベントや地域祭礼の実施に対し積極的に協力している。<br><br>④環境問題に重点を置き、LPガス仕様整氷車の導入によるCO2の削減やペーパーレス化をはじめ、夏場の適切な氷温管理による電気使用量の削減等、SDGs17の目標のうち11「住み続けられるまちづくりを」、13「気候変動に具体的な対策を」のゴールに向けた取り組みができています。 | A                    |           |
| I 総括                       |                        | 7項目（28点満点）  |   | A                       | 7項目（28点満点）  | A                    |           |
| II さらなるサービスの向上に関する事項       | (1) 利用者満足度調査等          | ①利用者満足度調査等の実施状況<br><br>②調査結果のフィードバック（PDCA）  | ①アンケートやホームページのお問い合わせフォームを活用して実施。<br><br>②検討を重ね実施可能なものは対応、設備的事案については大阪府と情報共有及び協議の上、対応している。   | A                       | 利用者の声を広くきく場として、利用者アンケートだけでなく、施設ホームページにお問合せページを作成し、利用者の意見を踏まえ、施設設備等優先順位が高いものから対応を行っている。  | A                    |           |
|                            | (2) 自主事業               | ①さらなるサービス向上の取組み<br>〔指標1〕自主事業参加者数<br>R5実績：16,556人、上半期実績：8,274人<br>R6目標：25,548人、上半期実績：7,647人<br>〔指標2〕自主事業収入状況<br>R5実績：32,019,267円、上半期実績：17,763,712円<br>R6目標：41,479,717円、上半期実績：14,790,620円 | ①各教室受講生への声掛けやアンケートにより要望を把握し、カリキュラムやサービスの充実を図った。<br>フットサルリーグ戦(6月) 約200人参加 / 収入77千円<br>グラウンドシニアバド(9月) 約300人参加 / 収入724千円<br>アイスホッケーリーグ戦(9月) 約250人参加 / 収入180千円<br>フィギュアスケートマスターズ(10月) 約150人 / 収入650千円   | A                       | 目標とする利用者人数、利用人数には達しない見込みであるが、今年度より新たにフットサルリーグ戦とフィギュアスケートマスターズを実施し、参加者数及び収入増加に取り組んでいる。さらに、フリー卓球台の時間貸出や、カプセルトイレの設置など新規自主事業を展開し、にぎわいづくりにも取り組んでいる。  | B                    |           |
|                            | (3) その他創意工夫            | ①その他創意工夫の取組み  | ①夏イベント(スケートの安価な料金設定企画)、SNS割引(フオローや友達追加で適用)、各教室の入会キャンペーン・グッズプレゼント、私立小中学校や保育園へのチラシ配布、高石市イベントでのチラシ配布などを実施し、新規顧客獲得への販促活動を行った。また駅張りポスターの計画とプロレス興行の誘致を継続して調整中。  | A                       | スケートの安価な料金設定企画やSNS割引、各教室の入会キャンペーン・グッズプレゼントを実施し、地域のスポーツ振興へも寄与することができている。また、小中学校や保育園や市のイベントでのチラシ配布により、施設を周知し、販促活動を実施している。   | A                    |           |
|                            | II 総括                  |   | 3項目（12点満点）  |                         | A   | 3項目（12点満点）           | A         |
| III 適正な管理業務の遂行を図ることができ     | (1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | ①事業収支計画、事業収支実績状況<br>〔指標〕R6収支計算書<br>・収入 プロポーザル：201,219千円、見込み：152,693千円<br>・支出 プロポーザル：201,219千円、見込み：180,000千円<br>・納付金 プロポーザル：15,950千円、見込み：15,950千円  | ① 事業収支及び見込み<br>《令和6年度：対プロポーザル比》<br>収入：75.88%<br>支出：89.45%<br>納付金：100%   | B                       | ①新規の興行は獲得したものの、収入額は目標に達しない見込みである。支出額については、光熱費や人件費等の高騰により増加傾向にあるが、指定管理者の努力により乖離はない見込みである。  | B                    |           |
|                            | (2) 安定的な運営が可能となる人的能力   | ①職員体制・配置<br><br>②管理監督体制・責任体制<br><br>③指導育成、研修体制  | ①(提案時の職員体制)非常勤社員4名、正社員6名、嘱託社員2名、パート社員5名、臨時職員2名、合計19名<br>(2024.4月現在)非常勤社員4名、正社員6名、嘱託社員1名、パート社員6名、臨時職員3名、合計20名<br>②支配人を常駐させ、経理部門・事業部門・維持管理部門全体を把握させ、各部門の業務の調整を行い、管理監督責任体制を明確にしている。<br>また毎月1回スタッフ会議を実施し、利用者からの要望、施設の維持、イベント等について、企画立案・情報共有を行っている。<br>③個人情報保護、情報公開研修、人権啓発研修、リーダーシップ研修、救急救命講習会、OJT(随時)など職員の育成、スキルアップに努めている。                | A                       | ①適切な人員配置により、円滑な管理運営体制を築くことができている。<br><br>②管理監督体制及び責任体制が明確化されている。また、毎月1回スタッフ会議を行い、円滑な施設運営を実施することができている。<br><br>③職員研修でのテスト実施などを通じて、職員の育成、資質向上への取り組みがなされている。   | A                    |           |

|                   |                    |                         |                      |
|-------------------|--------------------|-------------------------|----------------------|
| 施設名称：府立臨海スポーツセンター | 指定管理者：南海ビルサービス株式会社 | 指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日 | 所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課 |
|-------------------|--------------------|-------------------------|----------------------|

| 評価項目             | 評価基準（内容）              | 指定管理者の自己評価   | 評価     | 施設所管課の評価              | 評価   | 評価委員会の指摘・提言 | 評価  |
|------------------|-----------------------|--|--------|-----------------------|------|-------------|-----|
|                  |                       |  | S～C    |                       | S～C  |             | S～C |
| える能力及び財政基盤に関する事項 | (3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤 | ①事業者の運営基盤 南海ビルサービス株式会社<br>・ビル、ホテル、空港などにおける設備機器の運転保守管理業務、客室整備、警備業務および清掃等衛生管理業務<br>・駅、鉄道施設における駅務自動化機器および照明、放送等電気設備の保守管理業務<br>・建築物における各種設備の改造、修繕、取替工事の設計、施工および工事請負<br>・ビル、店舗、住宅、マンション等、リフォーム工事の設計、施工、監理<br>・学芸、教養、趣味等文化施設の経営および管理業務<br>・不動産の管理、賃貸借、売買および仲介<br>・建設総合請負<br>・建物・建築設備の調査・点検・診断<br>・都市や宅地の緑化計画、土木外溝・造園・室内装飾の設計・施工、緑の維持・管理、緑のリース、フラワーショップの運営<br>②2023年度財務状況<br>代表企業：南海ビルサービス株式会社<br>自己資本合計 9,290,456,913円<br>資産合計 15,693,570,113円<br>流動資産合計 12,817,913,996円<br>流動負債合計 6,308,577,499円<br>固定資産合計 2,875,656,117円<br>純利益 739,254,407円 | A      | 運営基盤は、概ね安定していると認められる。 | A    |             |     |
|                  |                       |  | III 総括 | 3項目（12点満点）            | A    | 3項目（12点満点）  | A   |
|                  |                       |  |        |                       | 年度評価 | B           |     |
|                  |                       |  |        |                       | 総合評価 |             |     |